

**[成果情報名]無核栽培におけるブドウ「ブラックビート」の果実特性**

[要約]無核栽培のブドウ「ブラックビート」は糖度は巨峰系品種に比べ低い、果皮色が濃く、減酸が早いため8月上旬に収穫できる黒色系品種である。

[キーワード]ブドウ、ブラックビート、早生、無核

[担当]農林技術開発センター・果樹研究部門・ビワ落葉果樹研究室

[連絡先](代表) 0957-55-8740

[区分]果樹

[分類]指導

---

**[背景・ねらい]**

長崎県内で栽培されるブドウ栽培の主要品種は「巨峰」であるが、有核栽培が多く無核化栽培は少ない。また、近年の温暖化により着色が遅れるため「お盆」の需要期に出荷を十分に行えていない。そこで、無核栽培で着色が優れる早生系品種を選抜する。

**[成果の内容・特徴]**

1. 8月上旬の累積収穫果率は「巨峰」の60%程度に対し、「ブラックビート」は80%と高い(図1)。
2. 「ブラックビート」は「巨峰」に比べ果皮のカラーチャート値が高く、黒色が濃い。また、果皮のアントシアニン含量も「ブラックビート」が多い(表1、写真1)。
3. 「ブラックビート」の糖度及び酸含量は「巨峰」に比べ低い(表1)。
4. 「ブラックビート」の果房重は「巨峰」より重く、果粒重は約10gで「巨峰」とほぼ同じである(表1)。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 調査は露地のH型短梢栽培で行い着房過多を避けるため、全結果母枝の80%に結実させた結果である。
2. 「ブラックビート」は果皮の着色が早いため食味を確認して収穫する必要がある。
3. 「ブラックビート」は熊本県の河野隆夫氏が平成2年に、「藤稔」に「ピオーネ」を交配して育成し、平成16年6月に登録された品種である。

[具体的データ]

表 1 無核栽培におけるブドウ「ブラックビート」と「巨峰」の果実品質

年度	品種	果房重 (g)	果粒重 (g)	着粒数 (果/房)	糖度 (brix)	酸含量 (g/100ml)	カラー チャート値	アントシアニン (mg/100ml)
2009	ブラックビート	430.0	9.7	44.6	15.3 c <sup>z</sup>	0.56 c	10.4 a	7.90 a
	巨峰(浜崎系)	312.5	9.7	35.0	18.4 a	0.61 b	7.2 b	6.91 b
	巨峰(桜井系)	341.6	10.1	33.8	17.3 b	0.67 a	7.3 b	7.07 b
2010	ブラックビート	387.5	10.4	37.2	15.7 b <sup>z</sup>	0.62 b	10.4 a	7.81 a
	巨峰(浜崎系)	310.5	8.9	34.2	18.3 a	0.73 a	6.7 c	6.31 c
	巨峰(桜井系)	314.0	9.3	34.5	18.5 a	0.70 a	8.6 b	6.80 b

<sup>z</sup> 同一年度内の縦の異なる文字間にはTukey多重検定により5%レベルで有意差有り。  
 無核処理として2009年は満開10日前の5月9日に、2010年は満開10日前の5月7日にストレプトマイシン液剤 200ppmを散布後、両年も満開3~5日後にジベレリン25ppmとフルメット液剤 10ppmを浸漬処理。

2009年8月10日および2010年8月6日に一斉に収穫し品質調査を実施。

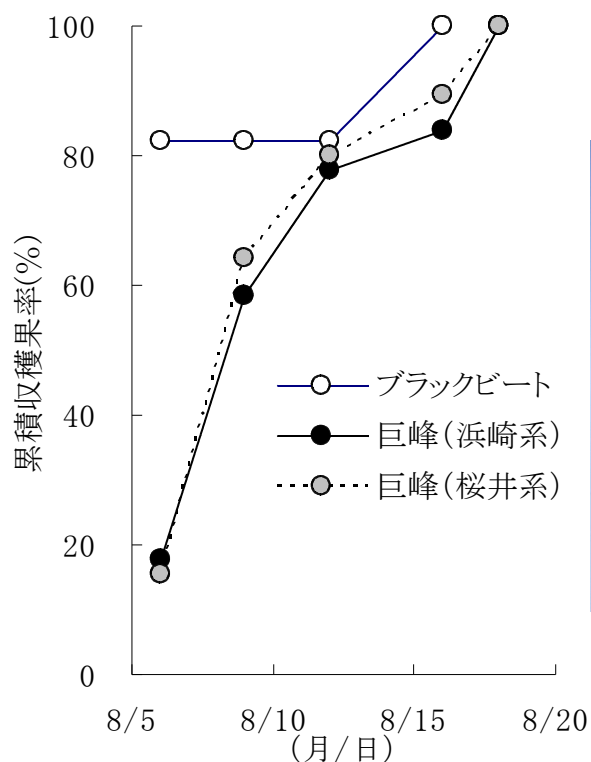


写真1 巨峰(浜崎系)とブラックビート(右) (8/6収穫)

図1 ブラックビートと巨峰の累積収穫果率の推移 (2010年)

[その他]

研究課題名：特定果樹の栽培法  
 予算区分：県単  
 研究期間：2010年度  
 研究担当者：松浦 正、中里一郎、石本慶一郎